



いかにも「高機動型」
とはどのような製作意図
があなたのところ? 「単純に
『速さ』を有利条件とした強敵
に対し、現状のレベルでは足
りないからです」といいます。
速い機体として一躍成立
したガンプラに同じ特性の強
化改造を施すことは、それが
完璧度のものであると評ば
るに相違ありません。ただし、
実際、スラスターを搭載した
ラピッドは、それで利点以
上の弊害も備えてしまつたは
ずである。

[ザクアメイジング・ラピッド& ザクアメイジング・マリンタイプ]

制作 / メイジン・カワグチ ヴィゴンダ・モンタ

お陰様で、本誌も新たな春を迎えることが出来ました。新年
度突入記念となる今号では、編集部に届いた少々遅めの春
一番……ではなく、ガンプラ界
の英雄の“友人”を名乗る屈強
な男が持ち込んだ2体の素
晴らしいガンプラをお届け
しよう。ザクアメイジングの
バリエーション、もちろん
製作者は3代目、メイジ
ン・カワグチ!!

ZAKU AMAZING RAPID

MS-06R-ABR
BUILD FIGHTERS MOBILE SUIT VARIATION
AF-MSV

“高機動型ザクアメイジング”

1/144 SCALE PLASTIC KIT "HIGH GRADE (+SCRATCH)" MODELED BY MEIJIN KAWAGUCHI



1/144 SCALE PLASTIC KIT “HIGH GRADE (+SCRATCH)” MODELED BY MEIJIN KAWAGUCHI

[ザクアメイジング・マリンタイプ]
地中爆撃を主としていたジオラマ公国軍において、地球表面積の70%を占める海中の戦の重要性は非常に高いものであった。MS-06の中戦用化計画に苦心する中、MS新規にも構造する「紅の彗星」と呼ばれたヒース・ハイコットが打ち出した改修案は、自身の體であるMS-06R-AB（防水シールの実装、汎用タイプの防水水流エンジンへの換装を施す）という大胆なものであり、そうして改めて改修案がMS-06R-ABMである。後のFSの水流も呼べMS-06R-ABの装甲や武装を統合した支度火力を水上航行用として構築しつつ、合体することにより水や水抵抗の事などせず高い機動力を示した機は、邁進した地戦海戦をして深海でも七星ありと言しめたとされる。（メイン・カーブチ主設計）



水上航行機能を持ったアイミジングアーバースターは、市販の汎用バージョン組み合わせで作り上げている。単純な組み替えでも再現可能なが、メカジックは細やかな調整を行って美しさと強さを両立させた出来映えへの昇華させた。(ラビットとマリソウル)アイミジングアーバースター

が、色味はあえて変化させてついで

ます。ラビットは頭の宇宙に

射しむような赤、マリン

タイプは海から降

り注ぐ光を受けた

ような赤をイメージ

しました。

MS-06R-ABM
ZAKU AMAZING
MARIN TYPE
「水中型ザクアメイジング」

REAR [背面]

FRONT [正面]

SIDE [側面]

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

本体とブースターが合体すれば、その真価が發揮される。この合体形態こそ水中航行・操縦能力を備えた、真のマリンタイプと呼ぶ存だになります。水中のバルエリでは、水を構成するプラスチック粒子を圧縮、機体の周りに展開放射することごと、推進力を劇的に高めることが可能なんですよ。この高い機動性能では、粒子充満の影響によって、機体は赤い光粒子で包まれるのだといふ。メイジングの独創性にもある遊び心深い点でも、基盤は確かに輝く輝くのだろう。



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11



「2体ともガンプラバトルに特化させた“勝っための”仕様ではあります、当時の私は伝統のMSV（モビルスーツバリエーション）に徹って、ザクアメイジングが実現のガンダム劇中世界に存在していたれば、そのバリエーション機はどんな設定になっていたかということを意識しながら製作しました。冒頭に載せて頂いた私の独自設定も含め、ガンプラは組むだけ無く、こういった遊び方も可能なのです」（メイジン）



「なんだもんだ……近頃／会社／…もといメイジンは本当にこよなくおなじみの出来事は即ちに受け取るよう携帯電話を何時も離さず握り込んでいました」と、あるいは「手元で水没しないようにしました」

（編集部注：ゴンダ氏の熱々想いが綴られた記事ではありませんでしたが、この後編集部でメイジンへ直接取材を行い、補足の情報を各画像に記載しております。そちらもご覧ください）

ザクアメイジング・ラピッド& ザクアメイジング・マリンタイプ

製作／メイジン・カワウチ

写真／メイジン・カワウチ

「この2体のザクアメイジングを見て、読者諸氏はどうな感想を描き立てられますか？ 私は証も無く熱い想いが込み上げてくるのですが、それも致し方ありません……いずれのガンプラも正真正銘、3代目メイジン・カワグチの手によるものなのです！！ 紹介が遅れました、私はゴンダ・モンタと申します。会わざ……もしメイジンとは古くからの友人であり、この度ホビー・ホビーフィールドが記念回と言つことで、次なる一步へのつなげになれば、彼からこの2機を借り受け、編集部を持ち込んだ次第であります！」

多忙な会社……もといメイジンですから、製作記事の執筆も不肖、この「ゴンダ」が担当させて頂ければと！ 皆様、よろしくお願ひいたします!! さて……まずはこの「ラピッド」ですが！ 本当に美しいですね……このガンプラが誕生するまでに、彼は一体どれほどの気苦労を味わったのか……いや、あの人ならその恵まれた才能で、さらりと作り上げてしまったのかも知れませんよ。

そして……このマリンタイプ!! こちらも清らかで素晴らしい。心臓の鼓動が早まつたかと思えば、視界が闇気に……まるで深海を越えた異世界へと連れ立ってくれそうな出来映え！ 驚嘆すべきは、どちらのザクアメイジングも、一般商品の組み合わせのみで成立させたというところであり、彼のよくな神がかつた製作技術がなくとも、これつのガンプラを手にすることは可能なのです！

いかん！ 居てもたっても居られなくなってしまった!! 私もこの組み合わせを試し、少しでも会社／…もといメイジンの境地、つまり彼の視界を味わってみたい!! 今はネットショッピングで手軽に購入できる時代ですが、あえて2駅先の模型店まで疾走しそめてこの肉体だけでも彼の苦労を理解したいと思います！ それでは、御機嫌よう!!